



大西町長(左)と八木選手(右)

八木敦士選手が町長を表敬訪問

昨年12月4日(水)、町ゴルフツーリズムに事業開始時から協力をいただいているプロゴルファーであり、Kochi黒潮カントリークラブ支配人である八木敦士選手が来庁し、大西勝也町長を表敬訪問しました。

本訪問はゴルフツーリズム10周年を記念して行われたものです。八木選手はこれまで、町民ゴルフ大会、ゴルフ選手の合宿誘致など、地域活性化につながる活動に尽力してられました。

八木選手は、「令和4年に支配人に就任し、全国でつながりを広げている。多方面から意見をいただくことで今後の地域活性化にもつなげることができる。今後も町に協力していければ」と話しました。



炊き出し訓練の様子

かまどベンチ寄贈式・炊き出し訓練

中村地区建設協同組合よりかまどベンチが寄贈されたことに伴い、昨年11月28日(木)、佐賀地区城山避難広場で寄贈式および炊き出し訓練が行われました。

同協会の金谷光人さんは、「普段から地域のイベントなどにも使用し、もし災害が起きた際にはみんなで手を取り合って協力してもらえれば」と話しました。また、訓練には、明神・会所・浜町地区の住民や佐賀中学生などが参加し、漁業協同組合佐賀統括支所女性部の皆さんが作ったカレーをいただきました。炊き出しなどで使用するため、ご自宅で倉庫などに保管され使用していない大きな鍋などがありましたら、同部までご提供をお願いします。



寸胴鍋寄贈の様子

(公社)幡多法人会黒潮支部が大方高校へ寸胴鍋寄贈

(公社)幡多法人会では、社会生活の向上のために貢献する社会活動や慈善活動として「社会貢献活動」を実施しています。今年度は地域や行政などの各関係機関と連携を図り、黒潮町が掲げる「犠牲者ゼロ」をめざして日々防災意識を高めるための知識の習得や、地域の課題解決に力を入れた活動をしている大方高校へ発災時に活用できる炊き出し用の寸胴鍋を寄贈しました。

生徒のさらなる防災意識の向上や、防災備品の充実につながり避難所運営の一助を担えることを期待しています。



豊永部長(左)と西村副町長(右)

四国電力(株)がセンサーライト寄贈

昨年11月25日(月)、四国電力株式会社より、防災関連物品として「センサーライト」が寄贈されました。

西村副町長は、「社会インフラである電力は、平時に安定供給されていることはもとより、災害時の復旧も早く、町としても非常に頼りにしている。今回いただいたライトも、非常時の備えとして活用させていただく」と話し、同社の豊永高知支店総務部地域共生担当部長は、「電力インフラを担う企業としての責任を重く受け止め、これからも平時、災害時ともに社会に貢献したい」と話しました。